

結核定期健康診断月報に係る記載方法

もくじ

1	市町村	P.2
2	医療機関	P.3
3	教育機関	P.4
4	介護老人保健施設	P.5
5	社会福祉施設	P.6

結核定期健康診断月報（市町村）

1 実施者

市町村長

2 対象者【実施回数】

(1) 市町村が管轄する区域内に居住する者のうち、P.3～P.6の対象者以外の者

【65歳に達する日の属する年度 以降において毎年度に1回】

※ 市町村が定期の健康診断の必要がないと認める者及び(2)に掲げる者を除く

(2) 特に定期の健康診断の必要があると認める者

【市町村が定める定期において市町村が定める回数】

※ 市町村がその管轄する区域内における結核の発生状況、定期の健康診断による結核患者の発見率その他の事情を勘案

3 記入例

対象者の欄には、健康診断の対象としている者の年齢区分等を記入すること。

例) 65歳に達する日の属する年度以降の者

実施月が異なる場合、下図のように（括弧）を使用した記入で報告願います。

10(40)の解釈については、月の報告数が10人で累計の報告数が40人という整理とします。

区分	住民	その他（ ）	その他（ ）
対象者			
対象者数	40		
間接撮影者数	10(40)		
直接撮影者数	0		
その他の検査			
被検者数	結核患者		
	結核発病のおそれがある者		

結核に係る検査（CT、QFT、T-SPOT）を行った場合に記入願います。

結核定期健康診断月報（医療機関）

1 医療機関

病院、診療所、助産所

2 実施者

管理者（院長・所長・理事長等）

3 対象者【実施回数】

従事者：職員【毎年度に1回】

医療機関で従事する全ての人（正規雇用ではない非常勤職員も含む）が対象

※ 管理者についても業務に従事している限り対象

4 記入例

実施月が異なる場合、下図のように（括弧）を使用した記入で報告願います。

10(40)の解釈については、月の報告数が10人で累計の報告数が40人という整理とします。

区分	従事者	学生(生徒)	入所(収容)者	その他()	その他()
定員	40				
対象者数	40				
間接撮影者数	10(40)				
直接撮影者数	0				
その他の検査					
被検者数	結核患者				
	結核発病のおそれがある者				

結核に係る検査（CT、QFT、T-SPOT）を行った場合に記入願います。

結核定期健康診断月報（教育機関）

1 学校

大学（短期大学、大学院を含む）、高等学校、高等専門学校、専修学校又は各種学校（修業年限が1年以内のものを除く）を含み、幼稚園を除く

2 実施者

管理者（学校長・理事長等）

3 対象者【実施回数】

(1) 従事者：職員【毎年度に1回】

学校で従事する全ての人（正規雇用ではない非常勤職員も含む）が対象

※ 管理者についても業務に従事している限り対象

(2) 学生（生徒）：新入生【入学した年度に1回】

1年生のみ対象（中高一貫の高校1年生も対象）

※ 新入生でも、小学1年生と中学1年生は対象外

各種学校の修業年限が1年未満のコースの新入生も対象外

4 記入例

実施月が異なる場合、下図のように（括弧）を使用した記入で報告願います。

10(40)の解釈については、月の報告数が10人で累計の報告数が40人という整理とします。

区分	従事者	学生(生徒)	
定員	40		事業者としての報告：従事者 学校長としての報告：学生（生徒） → 両方の報告が必要ですが、それぞれ分けての報告でも構いません。 （例）生徒5月、従事者7月に報告
対象者数	40		
間接撮影者数	10(40)		
直接撮影者数	0		
その他の検査			結核に係る検査（CT、QFT、T-SPOT）を行った場合に記入願います。
被検査者数	結核患者		
	結核発病のおそれがある者		

結核定期健康診断月報（介護老人保健施設）

1 実施者

管理者（施設長等）

2 対象者【実施回数】

従事者：職員【毎年度に1回】

施設で従事する全ての人（正規雇用ではない非常勤職員も含む）が対象

※ 管理者についても業務に従事している限り対象

3 記入例

実施月が異なる場合、下図のように（括弧）を使用した記入で報告願います。

10(40)の解釈については、月の報告数が10人で累計の報告数が40人という整理とします。

区分	従事者	学生(生徒)	入所(収容)者	その他()	その他()
定員	40				
対象者数	40				
間接撮影者数	10(40)				
直接撮影者数	0				
その他の検査					
被検者数	結核患者				
	結核発病のおそれがある者				

結核に係る検査（CT、QFT、T-SPOT）を行った場合に記入願います。

結核定期健康診断月報（社会福祉施設）

1 社会福祉施設

生活保護法に規定されている救護施設・更正施設等、老人福祉法に規定されている養護老人ホーム・特別養老人ホーム・軽費老人ホーム、障害者自立支援法に規定されている障害者支援施設・知的障害者援護施設等、売春防止法に規定されている婦人保護施設

2 実施者

管理者（施設長・理事長等）

3 対象者【実施回数】

(1) 従事者：職員【毎年度に1回】

施設で働く全ての人（正規雇用ではない非常勤職員も含む）が対象

※ 管理者についても業務に従事している限り対象

(2) 入所者：65歳以上の入所者【65歳以上に達する日の属する年度以降において毎年度1回】

※ 通所のみで利用する方は、65歳以上でも対象外

4 記入例

実施月が異なる場合、下図のように（括弧）を使用した記入で報告願います。

10(40)の解釈については、月の報告数が10人で累計の報告数が40人という整理とします。

その他の検査には、結核に係る検査（CT、QFT、T-SPOT）を行った場合に記入願います。

区分	従事者	学生(生徒)	入所(収容)者	その他()	その他()
定員	40				
対象者数	40				
間接撮影者数	10(40)				
直接撮影者数	0				
その他の検査					
被害者数	結核患者				
	結核発病のおそれがある者				

事業者としての報告：従事者
施設長としての報告：入所（収容）者
→ 両方の報告が必要ですが、それぞれ分けての報告でも構いません。
(例) 従事者7月、入所者9月に報告